

中京高等学校の生徒の里山実習

実施日： 令和5年9月2日（土） 天候：晴
午前9時～午前11時30分
参加者： 井澤・松之木・山田（万）・小栗
（10名） 中京高等学校（生徒3名・教諭1名）
小里川ダム管理支所（支所長・管理係長）
活動場所： 原石山の山林

先ず参加者の自己紹介に続き、里山代表から里山教室の活動内容の紹介と、木の安全伐倒作業の説明を行った。
生徒3名に里山教室会員がそれぞれついて指導した。
1班 シロモジの伐倒実習（指導者：山田）
2班 ヤマナラシの伐倒実習（指導者：松之木）
3班 リョウブの伐倒実習（指導者：井澤）
伐倒作業実習終了後、各生徒から実習の感想など述べてもらった後、実習の振り返りをした。安全に実習を終えた。



参加者自己紹介



ススキ



1班 作業の振り返り



2班 作業の振り返り



1班 手順の指導



1班 伐倒作業中



2班 手順の指導



2班 伐倒後の細断



3班 手順の指導



3班 作業の振り返り

小里川ダム管理支所からの依頼による「城学連携事業」、中京高等学校生の里山実習では、木の伐倒作業を行いました。生徒は、ノコギリを使い慣れていませんでしたが、指導者の説明を良く理解し、安全に伐倒することが出来、笑顔に表れていました。何かとてもさわやかな気持ちになりました。

若い世代がこれからもこのような実習体験を通じて、緑豊かな環境づくりに少しでも関心を持ってもらえればと願っております。（小栗）